

累積報告数・累積定点当り報告数、疾病、都道府県別

2018年37週(09月10日～09月16日) 2018年09月20日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	655	0.13	7712	2.46	1099	0.35	4320	1.38	11473	3.65	693	0.22
山梨県	1	0.02	66	2.75	1	0.04	24	1.00	76	3.17	2	0.08
中北	1	0.07	49	6.13	-	-	12	1.50	34	4.25	1	0.13
中北峡北	-	-	13	2.60	-	-	6	1.20	6	1.20	-	-
峡東	-	-	1	0.25	1	0.25	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	1	0.50	-	-	-	-	6	3.00	-	-
富士・東部	-	-	2	0.40	-	-	4	0.80	30	6.00	1	0.20
<b>【警報レベル(開始～終息)】</b>	<b>30～10</b>				<b>3～1</b>		<b>8～4</b>		<b>20～12</b>		<b>2～1</b>	
<b>【注意報レベル】</b>	<b>10</b>										<b>1</b>	

2018年37週(09月10日～09月16日)コメント

RSウイルス感染症は、中北保健所管内で報告数が増加しています。主に秋から冬にかけて流行するウイルス性の呼吸器感染症で、症状は軽い風邪様から重い肺炎まで様々ですが、特に乳幼児では重症化しやすく注意が必要です。接触、飛沫により感染しますので、感染予防には咳エチケットの励行、手洗い、うがいが重要です。

手足口病は富士・東部保健所管内で報告数が増えています。また、ヘルパンギーナは中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で報告数が増えています。ヘルパンギーナ、手足口病はいわゆる夏かぜの代表的なウイルス性疾患です。感染予防のため手洗い、うがいを励行しましょう。

【今週の警報】:なし

【今週の注意報】:なし

山梨県集計(2018年37週(09月10日～09月16日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	3.17 / 定当
RSウイルス感染症	2.75 / 定当
ヘルパンギーナ	1.88 / 定当
手足口病	1.17 / 定当

全国集計(2018年37週(09月10日～09月16日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	3.65 / 定当
RSウイルス感染症	2.46 / 定当
ヘルパンギーナ	1.45 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38 / 定当
手足口病	1.14 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2018年37週(09月10日～09月16日))

感染性胃腸炎	富士・東部	6.00 / 定当
RSウイルス感染症	中北	6.13 / 定当
ヘルパンギーナ	富士・東部	4.60 / 定当
手足口病	富士・東部	3.20 / 定当





2018年37週(09月10日～09月16日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	115	0.24	2	0	9	0.02
山梨県	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】